

学会だより

◇ 第119回日本育種学会講演会中止について

東日本大地震に被災された会員、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の一日も早い、復帰を心より願っております。春季講演会を予定しておりました横浜市立大学への直接の被害はなかったものの、東北地区の会員の皆様には、学会参加は不可能な状況でした。余震の続く中、計画停電などもあり、学会を開催できる状況ではないと判断し、春季大会の中止を決定致しました。荻原保成大会委員長はじめ、ご準備いただいた皆様方には、大変ご迷惑をおかけする事になりました。お詫びと感謝を申し上げます。

(日本育種学会長 倉田のり)

日本育種学会会員の皆様 このたびの東日本大震災にて、被災された多くの方々には心からお見舞い申し上げます。この大震災で、東北・関東地方の会員・関係者の皆様には、研究活動への多大な影響がでていものと存じます。一日も早い回復を心より願っております。日本育種学会第119回講演会の開催を予定しておりました横浜地域でも、直接の被害はなかったものの計画停電などの影響がありました。開催に関して、会長をはじめ幹事の方と相談を重ねました結果、学会を開催できる状況ではない、と判断し、春季大会を中止することにいたしました。参加を予定しておられました皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。ご理解を賜ります様、お願い申し上げます。

(日本育種学会第119回講演会実行委員長 横浜市立大学 木原生物学研究所 荻原保成)

◇ 第119回日本育種学会講演会中止に伴う諸措置についてのお知らせ

・総会・受賞講演の延期、秋季大会における第54回シンポジウム中止について

東日本大震災の影響による育種学会春季大会の中止に伴い、春季大会で予定されていた総会ならびに受賞講演は来る秋季大会で繰越して開催することとなりました。このことにより、総会・受賞講演のための大会場の確保が必要となり、秋季大会全体の時間と場所を考慮した結果、秋季大会では、誠に残念ながらシンポジウムを中止することを決定いたしました。

・講演発表の取り扱いについて

講演会は中止となりましたが、日本育種学会としては要旨集の発送(平成23年4月14日)をもって発表は成立するとしております。したがって、要旨集に記載された内容は公開されることとなります。

・特許手続き上の証明について

講演会発表に関する特許手続き上の証明に関して、日本育種学会第119回講演会要旨集の発送日(平成23年4月14日)付けて頒布公表されたものであるとの証明書を発行いたします。証明書請求の詳細については、ホームページをご参照ください。

・優秀発表賞の中止について

平成23年春季大会の中止に伴い、予定しておりました優秀発表賞の選出も今回は中止させて頂くこととなりました。

・暫定予算について

平成23年度予算案については、3月5日の常任幹事会で承認された後、総会が秋の大会まで延期となったことから、暫定予算を組む事となりました。

・記者発表の延期について

講演会中止に伴い、記者発表は中止となりましたが、何らかの形で発表することを検討しています。

・前納された大会参加費および懇親会費の返却について

大会参加費を前納なさった方には、第119回講演会要旨集(育種学研究第13巻別冊1号)に同封して、返金の要領を記した資料を既にお送りしております。しかし、まだ多くの方が返金手続きをしておられない状況です。返金にかかる業務の長期化は、開催校(横浜市立大)の更なるご負担となりますことから、手続きがお済みでない方は至急のご連絡をお願いいたします。最終的にご連絡の無い場合は、やむを得ず義援金として処理させて頂く場合もございますので予めご承知置き下さい。

返金および義援金については学会ホームページにも掲載しておりますのでご参考下さい。

・義援金協力への御礼とご協力をお願い

日本育種学会では、大会参加費あるいは懇親会費の東日本大地震の被災地域への義援金としての寄付を呼びかけ、これまでに多数のご賛同をいただきました。大変ありがとうございます。4月25日に一旦受付を締切いたしました。まだ連絡をいただいていない方が多くいらっしゃいます。寄付のご意志がお有りの方は、ご自分が所属する地域の地域幹事までご一報ください。地域幹事の連絡先はホームページをご覧下さい。

◇ 常任幹事会議事録

開催日時：2011年3月5日 14:00～18:00

開催場所：東京大学農学部

出席者：倉田のり、奥野員敏、草場信、野々村賢一、横井修司、鳥山欽哉、大澤良、伊藤純一、那須田周平、金澤章、武田真、奥本裕、田口文緒、友岡憲彦、北野英己、久保山勉、有村慎一、乙部千雅子

委任状：千田峰生，穴井豊昭

各常任幹事からの経過報告後，平成 22 年度決算および平成 23 年度予算，学生会費の徴収の問題点と対策，育種学雑誌の投稿規定の検討，第 7 回アジア作物学会議における作物学会・育種学会の合同セッションの可否，優秀発表賞の投票方法，2012 年春季大会・秋季大会および 2013 年春季大会の開催地，などに関して討議を行った。

◇ 幹事会議事録

横浜市立大での春季講演会と幹事会が中止となった事を受け，今後の学会運営に必要な事項をメール審議による幹事会で検討した。

開催日時：2011 年 4 月 18 日～ 22 日

出席者：阿部純，貴島祐治，金澤章，三浦秀穂，阿部利徳，高畑義人，西尾剛，千田峰生，鳥山欽哉，渡邊和男，岩永勝，久保山勉，大澤良，田部井豊，半田裕一，金子幸雄，伊藤純一，荻原保成，穴戸理恵子，多田雄一，有村慎一，佐藤豊，小島昭夫，村井耕二，奥本裕，築山拓司，齊藤大樹，清水顕史，富田因則，武田真，穴井豊昭，坂井真，和田卓也，倉田のり，奥野員敏，草場信，野々村賢一，横井修司，那須田周平，乙部千雅子，田口文緒 計 41 名

欠席者：安東郁男，中村郁郎，芦刈基行，北野英己，辻本壽，安井秀，友岡憲彦，阿部知子 計 8 名

総計：49 名

なお，庶務幹事送付のメールに対する返信をもって幹事会出席とした。

1. 各常任幹事経過報告・関連報告

1) 総務（野々村）

会員数は，若干減少傾向にあるものの，例年通り 2000 名前後で推移することが見込まれること，第 119 回講演会における優秀発表賞選考の中止および優秀発表賞の投票方法の変更について報告があった。

2) 科研費・農学会（伊藤）

平成 23 年度研究成果公開促進費（学術定期刊行物）「Breeding Science に対する科研費」の申請を行い，23 年度について 3,800,000 円の交付が認められただけでなく，24 年度 3,600,000 円，25 年度 3,500,000 円，26 年度 3,400,000 円の複数年の交付内定を得たこと，平成 23 年度研究成果公開促進費（B）「シンポジウムに対する科研費」（対象シンポジウムは 23 年度秋に福井県立大学で開催される市民公開シンポジウム「みんなで話し合う福井の作物と農業—食糧生産と文化の視点から—」）の申請を行い，900,000 円の交付内定を得たことが報告された。また，平成 22 年度 BS 科研費に対する内部監査，外部監査を行い，管理が適正であることが認められたことが報告された。

3) ホームページ（那須田）

平成 22 年度のホームページのアクセス数が年間 5.5

万件であること，新着情報の更新件数が 168 件であったこと，会員へのメール配信回数が 126 件であること，HP からの住所変更機能を廃止したこと，平成 23 年春季大会中止に関わる諸連絡を HP に掲載したことが報告された。

4) 地域活動（各地域幹事）

北海道地区では，2010 年 9 月 4 日，12 月 4 日に北海道大学において日本作物学会との共催シンポジウム，平成 22 年度日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会一般講演会がそれぞれ行われたこと（金澤），中部地区では，12 月 11 日に愛知教育大において第 18 回育種学会中部地区談話会を開催し，参加人数が 80 名であったこと，7 月 17 日，18 日に信州大学において，北陸作物・育種学会第 47 回講演会およびシンポジウムを実施し，参加人数は 126 名であったこと（北野），近畿地区では，6 月 26 日に京都府大において近畿作物・育種研究会 169 回例会を実施し，参加人数は 57 名であったこと，9 月 18 日に京都府伏見区の NPO 法人無施肥無農薬栽培研究会研究水田，および大阪府高槻市の京都大学農学研究科附属農場において第 3 回現地検討会を実施し，参加人数は 21 名であったこと，9 月 21 日に作物研究第 55 号を発行したこと，12 月 4 日に大阪府立大学において近畿作物・育種研究会第 170 回例会を実施し，参加人数は 54 名であったこと（那須田）が報告された。

5) 編集英文誌（田口）

2010 年 Breeding Science 特集号（Rice genetic resources）が発行されたこと，2011 年は阿部純（北大），穴井豊昭（佐賀大），石本政男（生物研，要承認），許（国際農研），Duncan Vaughan（FAO）の編集による特集号「ゲノム時代のダイズ育種（Soybean breeding in genomic era）（仮題）」を vol. 5 として 12 月に発行することを目指すことが報告され，その後，今後の投稿・審査状況に関する審議報告がなされた。

6) 編集和文誌（北野）

育種学研究 12 号（2010 年）および 13 号（2011 年）の投稿・審査状況に関する報告があった。

7) 集会（久保山・有村）

今大会（横浜市立大学：大会委員長 荻原保成）は東日本大震災の影響から開催中止になったが，一般講演 302 題（口頭 157，ポスター 145），前納参加申し込み 476 名（会員 366 名，学生 97 名，非会員 13 名），優秀発表賞エントリー数 176 題（口頭 95 題，ポスター 81 題）であったことが報告された。また，発表予定者だが前納していなかった方が 43 名おり，個別に電子メール等で講演要旨集購入を呼び掛けを行っていることも報告された。次大会（福井県立大学），次々大会（宇都宮大学）開催に関する報告があった。

8) 記者発表報告（草場・伊藤）

記者発表課題として以下の 3 講演が選定された。講

演会中止に伴い、記者発表は中止となったが、何らかの形で発表することを検討していることが報告された。

・223 金澤章・稲葉純一・志村華子・太田垣駿吾・塚原小百合・松澤章彦・金甫民・後藤一法・増田税（北大院農）

エピジェネティックな変化を誘導することで遺伝子組換えによらずに形質を変化させた植物体の作出

・306 地主建志・森中洋一・高師知紀・香村敏郎・松岡信・北野英己（株）ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン，名古屋大学生物機能開発利用センター）

分子マーカー技術とF₁ハイブリッド育種の組み合わせによる超多収・良食味イネの育成

・324 森中洋一・西村明日香・平野恒・保浦・Ordornio Reynate L.・北野英己・松岡信（株）ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン，名古屋大学生物機能開発利用センター）

リグニン生合成酵素 Cinnamyl alcohol dehydrogenase (CAD) 欠損がイネの植物体強度と稲ワラの酵素糖化性に及ぼす影響

2. 議事

1) 第8回（平成22年度）論文賞の選考

論文賞に関して学会賞等選考委員会より推薦された候補について投票を行い、次の3件が論文賞に決定した。

〈日本育種学会論文賞第16号〉

論文名：Novel *GmFAD2-1b* mutant alleles created by reverse genetics induce marked elevation of oleic acid content in soybean seeds in combination with *GmFAD2-1a* mutant alleles

著者名：Tomoki Hoshino, Yutaka Takagi and Toyoaki Anai
掲載号・頁：Breeding Science 60(4): 419–425

〈日本育種学会論文賞第17号〉

論文名：Genetic structure revealed by a whole-genome single-nucleotide polymorphism survey of diverse accessions of cultivated Asian rice (*Oryza sativa* L.)

著者名：Kaworu Ebana, Jun-ichi Yonemaru, Shuichi Fukuoka, Hiroyoshi Iwata, Hiroyuki Kanamori, Nobukazu Namiki, Hideki Nagasaki and Masahiro Yano

掲載号・頁：Breeding Science 60(4): 390–397

〈日本育種学会論文賞第18号〉

論文名：コムギ縮萎病抵抗性系統の育成と「Madsen」由来の抵抗性遺伝子 YmMD の座乗領域の推定

著者名：竹内徹，宗形信也，鈴木孝子，千田圭一，堀田治邦，荒木和哉，浅山聡，佐藤導謙

掲載号・頁：育種学研究 12(1): 1–8

2) 平成23年度学会賞等選考委員の選出

平成23年度学会賞等選考委員に関する投票が行われ、以下の6名が同委員に決定した。なお、委員長は内規に従い副会長が務める。

平成23年度学会賞等選考委員：奥野員敏（委員長），岩永勝，北野英己，奥本裕，西尾剛，荻原保成，鳥山欽哉（次点：高畑義人，次々点：大澤良，次々々点：村井耕二，辻本壽，武田真）

3) 平成22年度監査結果

2011年2月24日に中西印刷の会議室において会計監査が行われたことが報告された。

4) 平成22年度決算及び平成23年度暫定予算

平成23年度予算案については、3月5日の常任幹事会で承認されたが、総会が秋の大会まで延期となったことから、本予算案をもって秋の総会までの暫定予算案とすることで承認された。春季大会に中止に伴う様々な出費は、大会費（春）から支出し、不足分は開催校負担とせず予備費から支出することなどが提案され、了承された。

（単位：円）

収入の部	平成22年度決算	平成23年度暫定予算
前年度繰越金	2,283,663	8,169,062
会員会費	18,165,387	19,945,000
賛助会員会費	880,000	900,000
別冊等頒布	3,708,500	3,800,000
掲載料	840,000	840,000
別刷著者負担分	5,361,275	3,300,000
広告料	1,050,025	1,000,000
雑収入	176,509	150,000
寄付金	600,000	0
出版助成金	3,080,805	0
合計	36,146,164	36,284,062

支出の部	平成22年度決算	平成23年度暫定予算
I. 事業費	19,336,840	20,840,000
1. 雑誌刊行費	13,608,668	14,430,000
2. 別冊刊行費	3,155,812	3,160,000
3. 大会費	1,200,000	1,200,000
4. シンポジウム費	263,630	400,000
5. 学会賞費	436,730	450,000
6. オンライン版作成費	672,000	700,000
7. 名簿作成費	0	500,000
II. 運営費	8,598,262	3,260,000
1. 学会分担金	324,542	330,000
2. 事務担当者手当	400,000	400,000
3. 事務費	2,090,724	2,530,000
1) 庶務	934,155	1,000,000
2) 編集	889,419	1,180,000
英文誌	872,209	980,000
和文誌	17,210	200,000
3) 集会	142,000	200,000
4) 会計	125,150	150,000
4. 事務委託費	4,401,600	4,401,600
5. 通信費・送料	567,307	600,000
6. 付属印刷物	201,410	200,000
7. 男女共同参画活動費	77,880	140,000
8. 地域活動費	377,840	400,000
9. 雑支出	156,959	160,000

III. 予備費	42,000	6,282,462
IV. 次年度へ繰入	8,169,062	0
V. 運営基金へ繰入	0	0
VI. 学会賞基金へ繰入	0	0
合計	36,146,164	36,284,062

基金	平成 22 年度決算	平成 23 年度暫定予定
運営基金	16,787,382	16,787,382
学会賞基金	3,250,000	3,250,000
事典委員会	50,437	50,437

5) 男女共同参画委員の交代について

勝田委員長、船附委員の辞任により、平成 23 年度から男女共同参画推進委員会委員が宍戸理恵子氏（委員長）、大澤良氏、奥本裕氏、早野（斎藤）由理子氏、金勝一樹氏に交代することが提案され、承認された。

6) 平成 24 年春季大会開催地について

平成 24 年度春季大会の開催を福井県立大学（大会委員長：大田正次氏）に依頼することが提案され、承認された。

7) 春季大会の中止に伴う講演発表の取扱について

講演会は中止となったが、講演要旨集の発送（2011 年 4 月 14 日）をもって発表とみなすという提案がなされ、了承された。

8) 春季大会の中止に伴う総会・授賞式・受賞講演会の秋季大会での開催、秋季大会でのシンポジウムの中止について

平成 23 年春季大会で開催予定であった総会・授賞式・受賞講演会は、平成 23 年秋季大会（福井県立大）に執り行うことが提案され、了承された。なお、本件はあくまで今年度のみの特例措置であり、平成 24 年の春季大会以降は、通常通り、春に総会・受賞講演、秋にシンポジウム開催とすることとする。

9) 関連報告

農学会技術者教育推進委員会から農学系各学協会への還流事項として農学系の各大学に、教育プロセスそのものの改革として JABEE の導入を検討してもらい

たい旨が紹介された。

◇ 第 20 回木原記念財団学術賞・特別賞の候補者推薦依頼について

財団法人木原記念横浜生命科学振興財団より第 20 回木原記念財団学術賞・特別賞の候補者の推薦依頼が来ております。詳しくは URL (http://www.nacos.com/jsb/02/02PDF/20th_kiharakinen.pdf) をご覧のうえ、該当者がいる場合は添付のフォームにご記入後、庶務幹事（総務）の野々村賢一〈knonomur@lab.nig.ac.jp〉までご連絡ください。

日本育種学会会員異動(2011.1.21 ~ 2011.4.20)

◇普通会員入会：川代早奈恵、斎藤靖史（岩手）、大川雅央（茨城）、佐藤和紀（埼玉）、辻朋子（三重）、新田みゆき（京都）、園田純也（鹿児島）

◇学生会員入会：ANDINI RITA（茨城）、KANSUP JEERAPORN、孫茜（東京）、高橋宏瑛、劉泓鏢（神奈川）、清水元樹（新潟）、SANDRO FREITAS MIRANDA、PHOMMALHTH SIVIENGKHEK、浦丸公猛、辛島伸幸、櫻井宏樹、吉田由梨（京都）

◇団体会員入会：大分県農林水産研究指導センター農業研究部（大分）

◇外国会員入会：MYOSOON SHIN、安戴旭（大韓民国）

住所変更等

◇普通会員：梅本貴之（北海道）、小巻克巳（岩手）、片山健二、金會澤、小林史典、山田渉（茨城）、沖山毅（栃木）、本多一郎（群馬）、北崎一義（千葉）、内海好規（神奈川）、田中有司、長嶺敬（新潟）、塩野克宏（福井）、斉藤雄飛（長野）、服部洋子、藤井潔、山内卓樹（愛知）、水野信之（京都）、辻本壽（鳥取）、豊澤佳子（福岡）、石垣元気（宮崎）、中島純（鹿児島）

◇学生会員：久米浩平（岩手）

◇外国団体会員：KYUNGPOOK NATIONAL UNIVERSITY LIBRARY（大韓民国）